

第1回 西・南中学校区小学校再編成準備委員会・専門部会

会 議 録

日 時	令和8年9月10日（木） 午後7時～午後7時55分
場 所	ワークヒルズ羽生大会議室
委 員	○再編成準備委員会（西中学校区） 駒宮委員、和田委員、黒田委員、齋藤(充)委員、篠崎委員、小林委員、山崎委員、増田委員、森田委員、白川委員、齊藤(隆)委員、栗原委員、佐藤委員 ○再編成準備委員会（南中学校区） 清水委員、植村委員、洪生田委員、漆原委員、金子委員、真家委員、井上委員、多田委員、中島委員、井野岡委員、眞秀委員、川田(直)委員、大塚委員、島村委員、大橋委員 ○通学部会（西中学校区） 綱取委員、入江委員、高橋委員、松本委員、清水委員、福田委員、深田委員、檜原委員、山崎委員 ○通学部会（南中学校区） 小島(裕)委員、根岸委員、小島(昭)委員、小澤委員、小室委員、武井委員、江原委員、谷島委員、新井委員、上原委員 ○PTA部会（西中学校区） 横塚委員、石田委員、山下委員、菊地委員、田中委員、齊藤委員 ○PTA部会（南中学校区） 佐藤委員、松島委員、尾城委員、今井委員、野川委員、二瓶委員、中村委員
事 務 局	川島教育長、大久保学校教育部長、一ノ瀬教育総務課長、柿沼学校教育課長、高橋教育総務課長補佐兼学校再編成係長、小川教育総務課学校再編成係職員
会議の内容	1 開会 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 委員長及び副委員長の選出について 5 議事 （1）学校再編成の経緯と目的、基本的な考え方について （2）再編成準備委員会と専門部会の組織について （3）再編成準備委員会と専門部会の委員について （4）再編成準備委員会と専門部会の役割について

		(5) 再編成準備委員会と専門部会の運営方法（案）について (6) 令和11年4月の開校に向けたスケジュール（案）について (7) その他 6 閉会
会 議 録		
1 開 会	司 会 (学校再編成係長)	第1回西・南中学校区小学校再編成準備委員会・専門部会を開会する。
2 委嘱状交付	教育長	<委嘱状の交付>
3 教育長あいさつ	教育長	<教育長あいさつ>
4 委員長及び副委員長 の選出について	司 会 (学校再編成係長)	羽生市立小・中学校再編成準備委員会設置要綱第5条の規定により、委員長及び副委員長は委員の互選により定めることになっている。 会議の終了後、委員で選出していただきたい。 <教育長退席>
5 議事 (1) 学校再編成の 経緯と目的、基本的 な考え方について	司 会 (学校再編成係長) 事務局 (教育総務課長)	議事(1)について、事務局から説明。 学校の再編成の経緯である。(資料1) 令和元年12月から学校再編成について協議がスタートした。その後、令和4年3月に基本方針を策定し、それに基づき、井泉小、三田ケ谷小、村君小の3校による再編成を行い、令和7年4月羽生東小が開校した。 令和5年2月から西・南中学校区の再編成について再度協議をはじめ、保護者、児童のアンケートを実施し、結果を参考に令和7年3月に基本方針案をまとめた。その後地区説明会を開催し、内容を説明した。市教育委員会としては、将来の子どもたちにとってよりよい教育環境を整えていきたいと考え、羽生北小・川俣小、また新郷第二小・須影小・岩瀬小の再編成は、令和11年4月を目指して進めることとし、昨年9月に基本方針を決

		定した。 次に学校再編成の目的である。(資料2) 学校再編成の目的は、羽生市の将来の子どもたちにとって、よりよい教育環境を整えることである。これを第一に考え、学校再編成を計画した。 学校再編成を計画するに至った理由である。 義務教育の目的の一つは「個人の能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培うこと」である。そのためには、友達との切磋琢磨が必要である。 子どもたちが多様な考えに触れ、認め合い、話し合い、友だちの考えと折り合いをつけ、合意形成を図ることを学び、経験する必要がある。そのためには、ある程度の人数が必要になってくる。 ある程度の人数で、この学習過程を積み重ねることで、自立的に生きる基礎を培うことにつながる。 こうした「よりよい教育環境」を整えるために、学校再編成が必要であると考えている。 学校再編成の基本的な考え方である。(資料2) 一つ目は、望ましい学級数の維持である。全ての小学校においてクラス替えが可能な規模となるよう再編成を行う。 二つ目は、小中一貫教育の推進と義務教育学校の設置である。小・中学校9年間の学びと育ちに連続性をもたせる小中一貫教育を推進し、将来的に、9学年が一緒の学校で学ぶ、義務教育学校の設置を目指す。 三つ目は、学校施設の集約である。施設の維持管理の負担軽減という財政面も適正規模・適正配置を行う理由の一つである。 小学校ごとの児童数の推移と再編成後の児童推計である。(資料3) 現在、川俣小と新郷第二小は、全学年において
--	--	---

(2)再編成準備委員会と専門部会の組織について (3)再編成準備委員会と専門部会の委員について (4)再編成準備委員会と専門部会の役割について (5)再編成準備委員会と専門部会の運営方法(案)につ	司 会 (学校再編成係長) 事務局 (学校再編成係長) 事務局 (学校再編成係長) 事務局 (学校再編成係長) 事務局 (学校再編成係長)	1 クラスですが、再編成により複数学級になることを見込んでいる。 議事(2)から(5)まで事務局から説明。 再編成準備委員会と専門部会の組織についてである(資料6)。 再編成準備委員会は、各専門部会で検討した事項について報告を受け、新たな学校の開校に向けて意見を集約する。 協議結果については、再編成準備委員会から事務局である教育委員会に報告する。教育委員会は、進捗状況の把握や課題の検討、調整、協議を行う。また、市長部局とも連携、調整し、跡地利用等を検討する。 再編成準備委員会と専門部会の役割についてである。 西中学校区の委員、南中学校区の委員は資料に記載のとおりである。 再編成準備委員会は、各専門部会で検討した事項について報告を受け、協議し、新たな学校の開校に向けて意見を集約する。また、校名、校歌、校章に関することなどを協議する。 通学部会は、通学路、通学方法、安全対策に関することについて協議する。 P T A部会は、体操服、P T A組織、P T Aの運営について協議する。 教育課程部会と事務部会は、学校の先生方のみで構成される専門部会で、実際には、既存の組織を活用し、そこで記載の事項について協議する。 再編成準備委員会の運営方法についてである。 議事、会議の公開については、要綱の規定に基づいている。会議は原則公開となり、傍聴可能で
--	--	---

いて	司会 (学校再編成係長) 事務局 (学校再編成係長) 司 会 (学校再編成係長) (6)令和11年4 事務局	ある。準備委員会と専門部会の会議録は、事務局が作成し、ホームページで公表する。発言者の氏名は記載しない。 広報については、保護者や地域の方に再編成の進捗状況を周知するため、「再編成準備委員会だより」を発行する。また、広報はにゅうに、進捗状況を年に数回掲載する。準備委員会だよりなどは、名簿や会議中の写真を掲載する可能性があることを御了承いただきたい。 基本的な協議の進め方については、各専門部会において、担当する事項について協議し、その結果を準備委員会へ報告する。準備委員会はそれについて協議し、意見を集約し、教育委員会への報告を行う。教育委員会や市長部局は、決定事項について条例の改正や予算措置など、所定の手続を行う。あわせて、決定事項や進捗状況について、市民への周知を行う。準備委員会は2～3か月に1回程度、専門部会は2か月に1回程度の開催を考えている。 日時については、今回の会議で第何週の何曜日と決めたほうがよいと考え、本日、案として提示した。この点は、可能であれば本日決定を行いたい。そして、次回は、本日決定した曜日と時間で10月に開催し、以降は進捗状況に合わせ、開催していきたい。 事務局の説明に対し、意見・質問を求めた。 <各中学校区、委員会、部会ごとに日程調整> 議事の(6)令和11年4月の開校に向けたスケジュールについて、事務局から説明。 令和11年4月の開校に向けてのスケジュール
-----------	--	---

月の開校に向けてのスケジュール (案)	(学校再編成係長)	(案) についてである。 再編成準備委員会は、まずは校名について協議し、校名が決まった後は、学校の名称と位置を定めた「羽生市立学校設置条例」の改正を市議会に諮る。現時点では、令和9年9月議会への上程を想定している。 続いて校章、校歌など記載の内容について協議を行う。 また、跡地利用については市長部局で検討し、再編成準備委員会でも随時案内する。 通学部会は、スクールバスの運行を含めた通学方法について協議する。スクールバスの基本方針は、令和8年度中の決定を想定している。 P T A部会は、まずは体操着やジャージについて協議を進め、その後組織等について協議する。体操服の基本方針は令和9年6月までに決定することを想定している。 他は記載のとおりである。 いつ頃、どのような項目を協議するかの詳細なスケジュールは、今後、それぞれの専門部会で提示していく。 最後に、羽生市及び羽生市教育委員会は、委員、保護者、地域の皆様とともに、「継往開来」の精神で学校の再編成に取り組んでいきたいと考えている。再編成に対し、様々な意見があると思うが、全ては将来の子どもたちのためである。委員の皆様と前向きな、建設的な議論をして、やってよかったと言われる学校再編成をしたいと思っている。皆様の御理解と御協力をお願いしたい。
(7) その他	司 会 (学校再編成係長) 事務局 (学校再編成係)	議事(7)その他について、二点、事務局から説明。 一点目は、羽生東小学校の開校までの歩みである。(資料7)

		今回の西・南中学校区の状況は異なるが、今後の協議の上で参考になるため、概要を説明する。 会議の開催時期について、東中学校区の再編成について令和7年4月の新校開校に向け、令和4年9月から準備委員会等の会議を開催した。 新校名、校章を新しく決定した経緯を記載している。校名、校章とも公募やアンケートなどを経て決定した。 新校歌決定の経緯を記載している。歌詞は児童へのアンケートを行い、専門家へ依頼し、完成した。 スクールバスについて、通学のためにマイクロバスを利用し4ルート運行している。登校時1便、下校時は低学年・高学年の時間帯に合わせ2便運行している。 P T Aに関する協議内容や決定事項を記載している。ジャージについて、新ジャージは作成せず、既存のものや市販のものを使用している。新P T A組織図を記載している。 3校の児童が円滑な人間関係を構築できるよう実施した交流事業を記載している。主に学年ごとに学校行事やレクリエーションなどを実施した。 再編成後に実施した児童保護者へのアンケートの一部を抜粋する。回答によると、多くの子どもたちが新しい環境に適応し、充実した学校生活を送っていることがわかる。 二点目は、次回会議についてである。会議の進め方については、事務局から羽生東小や他市の事例等も踏まえ提案をさせていただく。それをたたき台に委員の皆様から忌憚なく意見を出していただき、より良い方向を決めてもらいたい。よろしくお願いします。 次回会議について委員会、部会それぞれ説明するので所属している会の内容について確認をお願いします。
--	--	--

	) 司 会 (学校再編成係長)	いする。 なお、資料の内容は西・南中学校区で異なるが、これから説明する内容とページについては共通している。 まず、再編成準備委員会についてである。 今回は校名について協議をお願いする。事務局案としては新しい学校として、子どもたちが夢や希望をもち、地域住民からも愛され親しまれる校名を広く募集したいと考え、公募を提案させていただくが、新校名を決める上で他の方法はないかなど検討していただき、次回会議にて協議をお願いしたい。 次に通学部会についてである。 今回はスクールバスの利用基準について協議をお願いする。事務局案としては、利用基準として再編成により家と学校の直線距離が2kmを超える地区について対象と考えている。検討していただき次回会議にて協議をお願いしたい。 最後にPTA部会についてである。 今回は体操着・ジャージについて協議をお願いする。事務局案としては、保護者アンケートを提案するが、必要の有無等も含め検討していただき、次回会議にて協議をお願いしたい。 また、現在使用しているものの写真は資料として提供しているが、現物確認のため、各校でどなたかに体操着とジャージを持参していただきたい。 事務局の説明に対し、意見・質問を求めた。 <特になし>
--	-----------------------------------	---

6 閉 会	司 会 (学校再編成係長)	本日の議事は全て終了した。 第 1 回西・南中学校区小学校再編成準備委員会・専門部会を閉会とする。 ＊次回会議日程について協議の結果以下のとおり決定した。全日程時間は午後 6 時 3 0 分から開催する。 ・西準備委員会 1 0 月 2 1 日 (水) 川俣公民館 ・西通学部会 1 0 月 5 日 (月) 川俣公民館 ・西 P T A 部会 1 0 月 1 4 日 (水) 中央公民館 ・南準備委員会 1 0 月 1 5 日 (木) 須影公民館 ・南通学部会 1 0 月 7 日 (水) 須影公民館 ・南 P T A 部会 1 0 月 8 日 (木) 岩瀬公民館
【配布資料】 資料 1 学校再編成の経緯 資料 2 羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針概要版 資料 3 児童生徒数推移・推計 資料 4 羽生市立小・中学校再編成準備委員会設置要綱 資料 5 委員・事務局名簿 資料 6 第 1 回西・南中学校区小学校再編成準備委員会・専門部会 資料 7 羽生市立羽生東小学校までの歩み 各委員会・専門部会次回会議資料 一式		